

#2：保険料算定と予定基礎率



毎月支払う保険料って、保険金が高ければ、保険料もたくさん支払うだろうけど、保険料の中身はどうなってるのー？



まず保険料を決定するためには、3つの数値を前提にしてるんだ。この3つを**予定基礎率**★って呼ぶよ。



予定基礎率—生命保険の保険料を決定する際の3つの予定率で、契約時に予定された基礎率のことです。



予定基礎率

予定死亡率 … 何歳で死亡するかの予想

予定利率★ … 保険金運用による利回り

予定事業費率 … 保険会社の経営経費割合



予定利率—保険会社が株式等の投資運用を行い、手に入れる投資額に対する利益の割合のことです。



上記3つの予定基礎率は、あくまでも予想比率だから保険会社の事情によっては高く見積もることも低く見積もることもできるんだ。もし保険料を安くしたいなら、下記のような見積りをすれば良いことになる。

保険料が安くなるケース

会社見積

実際の割合

予定死亡率

5% > 3%

死亡保険金の支払額が見積より少なくなる

予定利率

1% < 2%

予想より運用収益が多く手に入り儲かると考える

予定事業費率

20% > 17%

無駄な経費を節約できてお金が残る



どのケースも予想していたよりもお金が保険会社に多く残るということなんだね。でも逆なら保険料は高くなるってことだね。